



中国視察中に発見した建物。これはいったなんでしょう？答えは後ろのページに。

七夕まつり

今年も七夕の時期がやってきました。アジ研では、7月7日（月）に、数あるアジ研の年中行事の中でも、実習生の皆さんに好評な行事の1つ「七夕まつり」が行われました。午前中の授業で、短冊に思い思いの願い事を書き、昼休みに全実習生が中庭に集合し、庭の中央に特設された笹の葉に願いを託しました。毎年、家族の健康や幸せや、「お金！」に関する願い事が多いのですが、未婚の実習生の増加を反映してか、国に残してきた恋人の健康や、帰国後の恋人との幸せな結婚を願う短冊が、例年に比べて多かったように感じました。いずれにせよ、実習生の皆さんは、愛する人々を母国に残し、自らの夢の実現のために来日してきている事を今更ながらに実感させられました。そんな実習生の皆さんの「きぼう」の実現を、日本語コミュニケーション能力の育成を通して、微力ながらサポートしていきたいと願う、本校の教育理念を再確認する好機となりました。



「実習生の皆さんの日本語会話が少しでも上達しますように・・・」

きぼう国際外語学院日本語講師・スタッフ一同

今月の実習生



今月の実習生は、伝統的なベトナムの帽子 Non la（ノンラ）がよく似合うベトナム人実習生、HA HAI NINH さん（ニンさん）を紹介します。ニンさんは、研修センターに来て以来、ノンラを、実習生寮のあるアジア研修センターから、栃木校への通学途中、毎日、日差し除けとして、雨の日は傘代わりとして、実際に使っていました。その姿は、次第に職員室や、実習生の間でも話題になりました。民族衣装のアオザイを持って来る実習生は、時々いるのですが、ノンラを持って来る実習生は、アジ研始まって以来！私達もびっくりしました。手荷物として飛行機に持ち込み、遥々ベトナムから持って来たそうです。その努力は、ベトナムの伝統的な物を日本人達には是非、知ってもらいたいという強い思いがあったようです。

ノンラはベトナムの伝統的な衣装の1つです。女の方は、アイザイを着る時に、ノンラを被ります。農業では男の方も被ります。でも、最近は男の方も女の方も、ノンラをあまり被りません。ノンラは、便利できれいですから、私は大好きです。

HA HAI NINH



通学途中のニンさん

チンタオ流日本語授業？



今月のあじけん流日本語授業は、現地（中国）での事前日本語教育と本校での日本語指導の連携を探るために行われた中国の日本語学校視察の様子をお届けしたいと思います。視察では、6月5日から11日までの7日間の日程で、江蘇省（金壇市）・山東省（青島市）・遼寧省（大連市）の3つの日本語学校を訪問しましたが、その中で最も印象深かった青島（チンタオ）の日本語学校の様子をご紹介します。

この学校では、日本語コミュニケーション能力の育成が重視されており、そのために様々な工夫が凝らされた授業が行なわれていました。また、日本人の仕事に取り組む姿勢や、日本の企業文化等についての教育が日本語指導に組み込まれており、その知識や習慣の習得と、日本語力の習得が相乗効果を生み出し、非常に効率的に日本語コミュニケーション力の向上が図られていました。技能実習生の日本語指導に特化した徹底した日本語指導体制、日本語学習に対する高いモチベーションの維持方法等、今後の本校での日本語教育にも、大いに参考になる学校視察となりました。また、今回視察で、現地での日本語教育と日本での日本語教育の連携の大切さを実感することも出来ました。

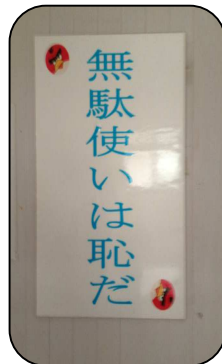
今回のこの貴重な経験を活かし、実習生の皆さんがより効果的に日本語コミュニケーション力を伸ばしていけるように、今後とも努力していきたく思いますので、引き続き本校の日本語指導に対するご理解・ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。



学校に入ると真っ先に目に飛び込んでくるスローガン。



校舎の至る所に張り出されている掲示物。



整理整頓が徹底された共同調理室。調理・食事は実習企業ごとに実施。



講習開始から2ヶ月間は基礎力の定着重視の授業形態。



3ヶ月目からは会話練習を重視した形態に移行。



4ヶ月目（最終月）、は1日8時間、立ちっ放しで授業を受けるスタイルに移行。

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます

答え：写真の左下をよく見てください。トラックが見えますね。実はこの建物は、道路をまたぐように建てられた高速道路のサービスエリアのレストランです。さすがは中国！ スケールの大きさに驚くばかりですね。

